

別添 1

基本評価シート

様式

ニホンジカ

(宮崎県 環境森林部自然環境課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画策定		
	指定管理鳥獣の捕獲等		
都道府県名	宮崎県	担当者部・係名	自然環境課
担当者名	前田 幸恵	担当者連絡先	0985-26-7291
捕獲実施事業者	(株) マツダコーポレーション（認定を受けている） (一社) 宮崎県猟友会 (認定を受けていない)	予算額（※2）	13,908,680円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	9,513,680円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和元年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
174 頭	183 頭	105%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
101,131 頭	保護優先地域 5 頭/km ² コントロール地域 2 頭/km ²	13,585 頭
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
5,349 頭	22,005 頭	0 頭

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

○狩猟における狩猟期間の延長、捕獲数制限の解除、くくりわなの輪の直径の制限の解除
 ○有害捕獲において捕獲班活動支援（経費の一部助成）、農水省の交付金及び県単事業により 8,000 円/頭の助成

2. 令和元年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>記述欄：宮崎県においてニホンジカは、県のほぼ全域に生息しており、平成30年度末の生息数は約101,000頭と推定している。特に県北部の県境付近及び県西部の霧島地域で生息密度が高くなっている。</p> <p>また、平成30年度のニホンジカによる農林作物等への被害額は約1億6千万円で被害額全体の46%を占めており、深刻な状態が継続している。</p> <p>このような状況を踏まえ、本県では「第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画」を策定し、生息数を令和5年度末に平成25年度末の推定生息頭数約125,000頭の約半数にあたる63,000頭以下とすることを管理目標としている。この目標を達成するため、狩猟、有害鳥獣捕獲に加え、当事業により集中的に捕獲を実施することにより、捕獲の強化を図る。</p> <p>※特定計画の中での指定管理鳥獣捕獲等事業の位置づけも記載する。</p>
	<p>【選択欄】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和元年8月～令和元年12月
実施区域	<p>県北地域（鏡山鳥獣保護区、冠岳鳥獣保護区、尾鈴山鳥獣保護区）</p> <p>霧島地域（霧島鳥獣保護区）</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入</p> <p>※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>
関係機関との協力	
事業の捕獲目標	<p>(105%達成)</p> <p>= (183 実績値) / (174 目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>※1：各種猟法の定義は○ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（尾）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真（詳細を記載：)</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>※複数チェック可。</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p> <p>※複数チェック可</p>
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。</p> <p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。</p> <p>(内容：鳥獣保護管理法第9条に基づく錯誤捕獲に係る許可)</p>

	<input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。 鳥類の鉛中毒等について <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。 鉛製銃弾について <input checked="" type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	安全管理対策として、以下のとおり実施した。 ・作業日程についての関係機関へ通知 ・作業実施前の注意喚起標識設置 ・安全講習会の実施 ・作業前・作業後のミーティング実施 ・事故発生時の緊急連絡体制を整備
捕獲従事者の体制	【雇用体制】 捕獲従事者数： 22人 (内訳) 正規雇用者： 10人、期間雇用者： 人 日当制： 12人

3. 令和元年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	評価：捕獲目標を達成した。
	改善点：今回の事業実施地域は、依然として生息密度が高いと推定されることから、引き続き捕獲事業を実施する。
【実施期間】	評価：概ね適切である。
	改善点：近接地域の有害捕獲、個体数調整捕獲と重複しないように、関係機関と連絡を密にして捕獲時期を決定する。
【実施区域】	評価：鳥獣保護区（4箇所）で実施。
	改善点：生息密度が高いと推定されるため、継続して実施する。
【捕獲手法】	評価：わな猟については、捕獲効率が昨年度に比べて高い結果となった。 （H30:0.017 頭/基日→R1:0.024 頭/基日） 区域により捕獲効率（C P U E）の差が大きい。
	改善点：現地調査を捕獲事業実施前に行い、捕獲効率の低い地域では、捕獲場所や実施方法を検討し、捕獲効率を高める必要がある。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：概ね適切である。
	改善点：特になし。
【個体処分】	評価：適正に処理された。
	改善点：特になし。
【環境配慮】	評価：国立公園内については、区域外に搬出し適正に処理された。
	改善点：特になし。
【安全管理】	評価：緊急時の連絡網が整備されるなど、常に連絡が取れる体制で捕獲を実施できた。
	改善点：特になし。
3. その他の事項に関する評価及び改善点	
4. 全体評価 生息密度が高い鳥獣保護区を重点的に実施することで、目標頭数に達したが、さらに捕獲強度を上げるため同地区で継続して捕獲を実施する必要がある。	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

第二種特定鳥獣管理計画における目標頭数（18,000 頭）を上回る頭数（22,005 頭）を許可により捕獲できており、狩猟が実施できない鳥獣保護区での捕獲により、捕獲数の上乘せに寄与したと考える。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項 目	整備状況	備考
① 捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
② 捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input checked="" type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報（胎児の有無、角の形状、体重、体長、後足長）	
③ 目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④ 捕獲努力量	<input type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 （わな稼働日数＝わな基数×稼働日数）	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック	
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない	
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない	
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない	
概況図を作成する 上での課題		

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

① 銃器による捕獲

外業の人日数総数※1： _____ 人日

事前調査人日数概数※2： _____ 人日

出猟（捕獲作業）人日数： _____ 人日

項 目	令和元年 (事業年度の値)	平成 30 年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	-人日	-人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

② わなによる捕獲

外業の人日数総数※1： 947 人日

事前調査人日数概数※2： 286 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 661 人日

項 目	令和元年 (事業年度の値)	平成 30 年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	7,517 基日	11,723 基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和元年 (事業年度の値)	平成30年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	—頭	—頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
② 目撃数	—頭	—頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	—	—	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	—	—	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※雌雄比、幼獣・成獣比については捕獲数が1頭のため増減の傾向について算出していない。

令和元年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※1	CPUE※2	SPUE※3
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/のべ人日数

※3:SPUE=目撃数/のべ人日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

③ わなによる捕獲

項目	令和元年 (事業年度の値)	平成30年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	183 頭	199 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
② 雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.62	0.67	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③ 幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.17	0.28	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和元年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	183 頭	7,517 基日	0.024 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1: わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2: CPUE = 捕獲数 / わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数: _____ 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数: _____ 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。